気候データを用いた野菜の収穫量の変動調査とその予測

研究技術内容

【主なテーマ】

- ・気候データを用いた野菜の収穫量の変動調査とその予測
- ・気候変動の野菜の収穫への影響の視覚化
- ・気候変動による野菜の収穫量低下と栽培適地の北上

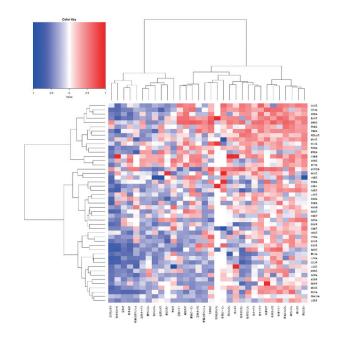
技術要点説明

気象庁の気象データと、農水省の 野菜の作況データを用い、14種類の 野菜の収穫と気象の関係を調査する。

右図は、47都道府県ごとの気候変動と 野菜の収穫への影響を視覚化したもの である。その結果、地球温暖化による、 夏野菜の収穫量の低下と野菜の栽培適地の 北上を認めた。

調査した野菜:ダイコン、トマト、ハクサイ、キャベツ、 ニンジン、ホウレンソウ、ネギ、タマネギ、ナスなど

気候変動時代の持続的な野菜の供給維持の ための栽培指針を提示した。



産業への活用方向

気候データを用いた野菜の収穫量の変動調査とその予測

関係する大学・企業等

JA信州諏訪

研究室概要

研究分野	気象ビッグデータ、データ分析、気候変動
主研究テーマ	気候データを用いた野菜の収穫量の変動調査とその予測
主要キーワード	気象ビッグデータ、データ分析、気候変動
研究室 HP	https://sites.google.com/view/kazuoishii

特記事項

- ①論文発表予定
- ②基礎研究